

旧街道&旧小路

まち歩きマップ



旧隠居小路・浄華寺(旭町)
小路名はこの通りにある浄華寺が、もともと西方寺五代順慶の隠居地であったことに由来する。当時、主に足軽が住んだ町。藩政時代の町並みが隠れる通りの西端に柳川名物の「船がた」の本舗がある。



三忠苑と安東省菴の墓
浄華寺の境内に、柳川藩儒学の祖・安東省菴の墓と、省菴の名著「三忠伝」にちなんだ庭園「三忠苑」がある。苑内の三大岩石は水戸光圀、明の大儒・朱舜水、省菴を、小石敷きは東シナ海を現したものとす。



外曲輪土居跡
外曲輪土居は柳川城の防衛のため、周囲に築いた土塁のことで、柳川を支配した田中氏、立花氏によって築かれ、強化されてきた。この土居跡は現在残っている唯一の外曲輪である。



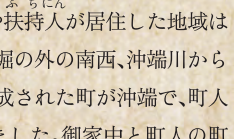
福岡県柳川市

旧街道&旧小路を歩けば、柳川がもっと好きになる!

蒲池氏、田中氏、立花氏によって形成された柳川城下は、御家中・柳河町・沖端の三つの区域に分かれていました。柳川城(本丸・二の丸・三の丸)を中心に、外堀に囲まれたほぼ正方形の区域が御家中(城内)で、武家屋敷が並び、町は小路(こまち)と呼ばれました。外堀の外北部と東部に広がる区域が柳河町で、主に町人が住み、足軽や扶持人が居住した地域は小路としました。外堀の外南西、沖端川からの引き込みを挟んで形成された町が沖端で、町人が住み、漁港も賑わいました。御家中と町人の町との出入りは城の北側の「辻御門」、西側の「竹御門」が設けられていました。掘割に守られてきた柳川は、旧街道筋や旧小路、旧町名が数多く残り、寺社も多く、趣のある裏路地や水辺の散歩が愉しめる国内でも稀な歴史と文化の香高い町です。川下りをお楽しみ後は、ゆっくりとまち歩きにこころを休めて、柳川の懐にふれてください。



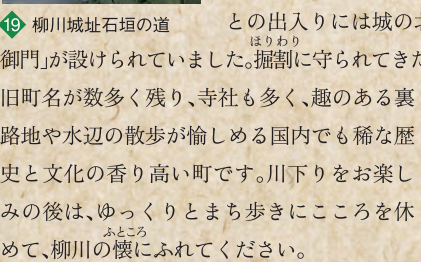
増平橋と並倉群(鶴味増)



柳川城址石垣の道



伝習館高裏・辻御門跡



まち歩きマップの凡例と見方

- ○ ○ ○ ○ は、旧小路名・旧町名・旧街道名などです。
● ● ● ● ● は、日本の道百選や水辺の散歩道などを表しています。
写真の番号 ①～⑩ で、マップ中の位置を確認できます。
①→②→③→④ は、まち歩きモデルコースです。
道路の中の 〇 は、バス停です。
123 は観光施設案内看板、A B は歴史・由来学習案内看板です。
● は、施設誘導石柱やポールです。
は淡水域、は満潮時海水が上ってくる水域です。

お問い合わせ

柳川市観光課
TEL 0944-73-8111 FAX 0944-74-1374
柳川市ホームページアドレス https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp
(一社)柳川市観光協会(観光案内所)
TEL 0944-74-0891 FAX 0944-72-9013
柳川市観光協会ホームページアドレス http://www.yanagawa-net.com

水郷柳川 旧街道&旧小路 まち歩き

城内地区・沖端白秋生家巡りコース
高門橋から西へ▶日本の道百選▶山王橋▶柳城公園▶日吉神社▶田中吉政公銅像・白秋歌碑▶弥兵衛門橋前から北へ▶藤平門橋▶白秋道路を南へ▶藤村作顕影碑・海老名弾正顕影碑・十時邸▶城西橋▶榎一雄文学碑▶鬼童橋▶旧戸島家住宅▶稲荷町裏路地▶二宮神社▶水産橋▶沖端漁港▶三明橋▶矢留町裏路地▶白秋公園▶白秋記念館▶白秋生家

城東地区町人まち・城内巡りコース
辻町四角▶京町通り▶細工町・寺巡り▶東魚屋町・小道具町・北長柄町▶北長柄橋▶南長柄町▶出来町▶長命寺▶並倉(鶴味増)・壇平橋▶本町▶高門橋から東へ▶日本の道百選▶袋町武家屋敷(浪辺家)▶あめんぼ公園から東へ▶城塞水門・水門橋・高瀬虚子句碑・瀬高御門跡碑・風浪神社(新町藤吉交差点)▶眞勝寺(田中吉政公墓所)▶外曲輪土居跡

城北地区町人まち・寺町巡りコース
辻町四角▶柳川の碑▶八剣神社▶恵美須町裏路地・西方寺門前▶旭町裏路地・浄華寺(三忠苑・安東省菴墓所)▶宮地獄神社▶常盤町裏路地(旧西覚寺小路〜旧匠匠小路)▶沖端川の葦群生▶出の橋▶本船津町家(目野氏住宅)▶大門橋▶寺町界限(妙経寺・台照院・報恩寺・良清寺・瑞松院他)

レンタサイクル情報
西鉄柳川駅と(一社)柳川市観光協会に「レンタサイクル」があります。気軽に楽しんでください。
お問い合わせ
●西鉄柳川駅 TEL:0944-72-2503(料金:1日500円)
●一般社団法人 柳川市観光協会 TEL:0944-73-2145(料金:1日500円)



進師町沖端をつつたのは平家の落ち武者だった
旧石馬場と田町の南東が旧矢留村。観光案内所の東から入った路地の奥にある矢留大神宮境内には、平家の六郎伝説の神社が祀られている。寿永四(1185)年、壇ノ浦の戦いで平家は敗れ、落ち武者六人が沖端へ逃れて住み着いたといひ。江戸時代に、六郎の子孫たちは宗茂公から漁業権を得、沖端の草分けとなった。



稲荷町の裏路地と二宮神社
恵比寿大明神を祀る裏路地の奥に、二宮神社が見えてくる。柳川の地を治めた蒲池氏一族の霊を慰める社で、境内には亀に乗った浦島太郎の石造物などがある。近くに、名物の串団子を売る商店がある。



裏路地の恵比寿大明神(矢留町)
かつて賑わいを見せた漁師町であった矢留町の裏路地には、恵比寿大明神を祀るいろんな形の祠があちこちにある。人々の暮らした中に海の安全を願う信仰が今も大切に受け継がれている。



旧鬼童小路・旧戸島家住宅(鬼童町)
旧江戸小路や旧鬼童小路は外堀の西に横切った武家の居住地。数寄屋風建築の旧戸島家住宅は藩士の隠宅で後に藩の茶室となった。建物は県指定有形文化財、池泉庭園は国指定名勝で、一般公開されている。



西方寺参道(恵美須町)
木造三階建ての畳屋、西方寺(浄土真宗本願寺派)参道の大きな木造建築物の旧戸島家住宅は藩士の隠宅で後に藩の茶室となった。建物は県指定有形文化財、池泉庭園は国指定名勝で、一般公開されている。



旧袋小路の武家屋敷浪辺家(袋町)
城内の大通り日本小路から東に一本の道が入る。堀に囲まれた当時は文字どおり袋小路。今も残る武家屋敷や延々と続く生垣が武家地の端正な小路の空気を伝える。国学者西原鬼樹を出した西原家もある。



旧奥州小路の町並み(奥州町)
藩祖立花宗茂が奥州棚倉(現福島県棚倉町)の大名だった当時に召し抱えた家臣たちが住ませたため奥州小路と呼ばれた。静かな佇まいの住宅が残り、かつての武家の町らしい趣のある町並みである。



旧宮永小路・米多比隅(宮永町)
柳川城をぐるりと囲む外堀の東南角、杉森高校の南側にある二つの小山は外堀沿いに築かれた土居の跡で、米多比隅の屋敷がある隅という意味。堀の対岸からは静かな水辺の景色が開ける。

寺町界限のまち歩きは、時間をかけるほど楽しみが深まる。



旧奥州小路・福蔵寺(奥州町)
福蔵寺は立花家の菩提寺(臨済宗黄檗派)。境内は広く、本堂と銀香の大樹が見もの。作家榎一雄の墓所もある。



妙経寺・足達八郎墓(蟹町)
妙経寺境内にはその武勇を諸国に知られた居合と剣術の達人、電撃技刀流・足達八郎の墓がある。



長命寺山門(出来町)
山寺風山門の両脇で、阿形(右)と昨形(左)の仁王像がらみを利かせている。どこかユーモラスなのがいい。